

### しんあい なる しんこうしゃ の みなさま！

わたしたちのよげんしゃ 齋 がマディーナにいじゅうしてから、わずかにねんはんごのことでした。それはシャアバーンつきのさいごのひでした。さいかいのぎむをつげる、アル=バカラしょうのつぎのせつがけいじされました。

「ラマダーンつきは、ひとびとのみちびきとして、またみちびきのめいはくなあかしときはんとしてクルアーンがくだされたつき。それゆえあなたがたのうち、そのつきにたちあつたものはさいかいしなさい。」<sup>1</sup>

あいすべきよげんしゃ 齋 は、マスジド・ナバーウィーのミンバルに上がり、ウンマにかたりかけました。「あなたがたはしゅくふくのラマダーンつきをむかえた。ぜんこのアッラーは、このつきにさいかいすることをあなたがたのぎむとされた。このつき、てんごくのもんはひらかれ、じごくのもんはとじられ、はんぎやくのあくまたちはくさりにつながれる。」<sup>2</sup>

### しんあい なる しんこうしゃ の みなさま！

ラマダーンは、さいかいとクルアーンのつきであり、にんたいとかんしゃ、くいあらためとないせいのつきです。このつきには、せんこのつきにもまさる「みいつのよる(ライト・アル=カドル)」があります。よげんしゃ 齋 によると、ラマダーンさいしょのよる、てんしたちはこうよびかけます。「ぜんをもとめるものよ、すうはいとほうしにきなさい。あくをもとめるものよ、つみをすてなさい。」<sup>3</sup>

### きょうだい、しまい の みなさま！

さいかいのなかにこそ、ラマダーンのいみがあります。さいかいは、にんたいといしのちから、そしてじひをやしなうたんれんです。「しんじるものたちよ。あなたがたいぜんのものたちにもさだめられたように、あなたがたのためにさいかいがさだめられた。それであなたがたも、おそれるものとなるだろう。」<sup>4</sup> このしょうくは、さいかいのもくてきが、わたしたちをあくとつみからまもることであるとしめています。アッラーのしと 齋 はこうかたりました。「さいかいはたてである。さいかいするひは、わるいことばをくちにしたり、こうろんしたりしてはならない。もしだれかがちょうはつしたりぶじよくしたりしたなら、『わたしはさいかいしている』といいなさい。」<sup>5</sup>

### しんあい なる しんこうしゃ の みなさま！

ラマダーンは、わたしたちのいのちのしよであるクルアーンのけいじがはじまったつきです。クルアーンはアッラーのみことばであり、「もっともうつくしいことば」<sup>6</sup> です。よげんしゃ 齋 はこうかたっています。「もっともしんじつなことばはアッラーのことばであり、もっともよいみちびきはムハンマド 齋 のみちびきである。」<sup>7</sup> クルアーンは、しんぱんのひまで、いかなるじだいにおいてもじんるいをただしいみちへとみちびきます。

### しんあい なる ムスリム の みなさま！

ラマダーンは、どうほうあいとれんたい、そしてわかちあいのつきです。いんしよくをたつことによって、わたしたちはもたざるひとびとのいたみをしり、みめぐみをたいせつにし、かてをあたえてくださるアッラーにかんしゃをささげます。また、わるいしゅうかんをたち、あらたにぜんりょうなページをひらくときでもあります。ぜんこうにはげみ、よこしまなことばやこうどうをさけ、だんけつとあいじょう、そしてそんけいのきずなをつよめましょう。

### しんあい なる きょうだい、しまい の みなさま！

じぶんのことばとところ、しこう、そしてじんせい、をラマダーンのびとひとつにしましょう。クルアーンをよみ、りかいすることにより、おおくのじかんをさきましょう。きずついたところをクルアーンのひかりによっていやし、いしきしてさいかいをまもるようつとめましょう。

### きょうだい、しまい の みなさま！

れいねんとおなじく、ことしのラマダーンも、とうジャーミイではイフタルのしよくじをていきょうしています。「ひとりぶん、わたしたちからもていきょうしましょう」ともうしでてくださるかたのごしえんをおまちしています。アッラーのためについやすことは、いだいなすうはいであることをわすれないでください。しゅはこのべておられます。「ラマダーンをすうはいのうちにすごし、ところからしんこうし、アッラーからのほうしょうをねがうものは、かこのつみをゆるされる。」<sup>8</sup>

しゅがわたしたちぜんいんに、すうはいとほうしのいしきをもって、けんこうとこうふくのうちにこのラマダーンをすごすきかいをあたえてくださいますように。

1 Bakara, 2/185.

2 Nasâi, Siyâm, 5.

3 Tirmizî, Savm, 1; İbn Mâce, Siyâm, 2.

4 Bakara, 2/183.

5 Buhârî, Sawm, 9; Müslim, Siyâm, 29.

6 Zûmar, 39/23.

7 Nasâi, İdeyn, 22.

8 Buhârî, İman, 27.